

事務事業名	運動公園環境整備事業	事業期間	～	年度	係内番号	05
担当部署	生涯学習部	スポーツ健康課	スポーツ健康係	連絡先	72-8399	

政策番号	02	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	中
			基本計画①	01	教育大綱	0302	スポーツを通じた健康づくり		
			基本計画②	02	生涯学習推進指針	0101	市民の学びを支える		
			実行計画	05	スポーツ推進計画	0302	スポーツ施設の充実		

予 算 事 業 名	体育施設環境整備事業費	会計コード	01	款	10	項	06	目	02	事業	02
-----------	-------------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要  
(簡潔にわかりやすく)  
利用者が安全かつ快適に利用できる公園になるよう、公園内の草木等に関する各種業務の委託を行い、運動公園内の環境整備を行う。具体的な業務としては、草刈・植木刈込み・林内整備、芝生管理、病害虫駆除（アメシロ消毒等）、テングス病及び枯枝伐採、支障木伐採等を行う。

現 状 と 背 景  
( どう して )  
運動公園は33.8ヘクタールの広さがあり、500本を超える桜・ケヤキ・カラマツなどの落葉樹、アカマツ・ヒマラヤスギなどの常緑針葉樹、ツツジ・サツキ・ドウダン等の生垣低木など多種多様な植栽となっている。公園を安全に利用していただくために、草刈・間伐・枝打ち・剪定・芝の手入れなどの定期的に作業を行う必要がある。台風等での倒木、木や芝生が枯れる、アメシロの発生といった事象には、安全・景観上放置することはできないため、迅速に対応する必要がある。

目 的  
対 象  
受 益 者  
(誰のために)  
公園を利用する全ての利用者  
対 象  
(直接働きかける)  
公園を利用する全ての利用者及び委託業務請負者  
意 図  
(どんな状態にしたいか)  
公園内の環境整備を定期的もしくは緊急的な行うことで、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整える。

手 段 ・ 方 法  
( どう や っ て )  
運動公園開設時に定植した樹木は40年を超え大木化・老木化しているため、植え替えをする際は運動公園植栽基準に基づき実施する。芝生管理・草刈など長期間に渡る業務は通年で、特定の樹木の伐採や消毒など期間が限られる業務はその都度、業務契約を締結し、業者等と協議しながら事業を実施していく。

評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	公園内の環境整備のための委託業務発注	委託数	件	委託業務発注数
	2					
	3					
	変更履歴					
成果指標	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	苦情の減少	非苦情発生率	%	(1-苦情のあった日数/365日) × 100
	2					
	変更履歴					

実 施 状 況	項 目	単 位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
			事業費等(a)	円	12,283,006	16,261,000	14,440,000
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円	12,283,006	16,261,000	14,440,000		
活 動 指 標	委託数	目標	15	15	15		
		実績	16	17			
		達成率	106.67	113.33	-	-	-
	-	目標	-				
		実績	-				
		達成率	-				
成 果 指 標	非苦情発生率	目標	100	100	100		
		実績	92	98			
		達成率	91.78	97.81	-	-	-
	-	目標	-				
		実績	-				
		達成率	-				
備 考							

事務事業名	運動公園環境整備事業		事業期間	~	年度	係内番号	05
担当部署	生涯学習部	スポーツ健康課	スポーツ健康係		連絡先	72-8399	

事後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成変果） 動指 要標 因分 （析）		アメリカシロヒトリに対する樹木の消毒の遅れ及び大量発生により、施設利用者からの目撃報告及び苦情があった。また老朽化した園内屋外トイレについて、悪臭や気味の悪さなどのご意見もあり、苦情があった日を0日とすることはできなかった。	昨年度のアメリカシロヒトリの大量発生を受け、今年度は広がる前の早期消毒に努めたため、病害虫に伴う苦情はほぼなかった。しかし、近年では見られなかったグラウンド内に雑草が多く発生し、この除草の要望が上がった。		
価値（総合評価）	成果	危険木の伐採や倒木処理、蜂の巣駆除など、緊急的な委託業務を行ったことにより、施設利用者が安全に利用できた。	運動公園隣接地へ支障となる樹木、及び電柱架線への影響が懸念される樹木の伐採、並びに落雷や倒木によって歩行者等にも危険を及ぼし得る樹木の処理を適切に行うことにより、施設利用者や近隣住民の安全を確保できた。			
	課題	速やかな自営・委託による樹木消毒・撤去・伐採等作業、また公園内トイレの清掃委託業者への継続的な指示により、施設利用者にも気持ちよく公園を利用してもらい、非苦情発生日を目標に近づける。	運動公園内の定期的な見回りにより、トイレの不具合や病害虫の巣等を早期に発見し対応できたため、目標値にかなり近い実績値を実現できた。今後も過去苦情が発生した季節に気を付けながら、継続的な見回りが必要。			
改革	成果	拡充	拡充			
	コスト	現状維持	現状維持			
改善の方向性（内容）	改善の方向性（内容）	倒木等による緊急支障木伐採の他に、運動公園内の老木や倒木の恐れがある樹木をリストアップし、計画的な伐採を行い安全性の向上及び美観の確保に努めることにより、成果の向上を目指す。また、比較的安価なシルバー人材センター職員を活用し、ウッドチップ敷きやグラウンドの整備などを行い、低コストでの成果向上に努める。	公園内樹木の老木化に伴い、今後倒木の危険性が高い樹木の増加が懸念される。倒木した際のリスクや緊急処理に伴う通常伐採以上のコスト増を避けるため、計画的な伐採を入札で行うことによって、同じコストで成果を大きくする環境整備を行っていく必要がある。また、新たに植える樹木は、自営での管理が容易にできるよう、樹木の頭を止めるなどして低木管理に努める。			
作成担当者	小林 七緒樹	小林 七緒樹				
最終評価責任者	中村 浩明	中村 浩明				
最終評価年月日	令和元年5月16日	2020年7月1日				

事務事業名	スケートセンター・ゴルフ練習場・プール管理運営事業	事業期間	～	年度	係内番号	06
担当部署	生涯学習部	スポーツ健康課	スポーツ健康係	連絡先	72-8399	

政策番号	02	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱ID	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高
			基本計画①	01	教育大綱	0302	スポーツを通じた健康づくり		
			基本計画②	02	生涯学習推進指針	0101	市民の学びを支える		
			実行計画	05	スポーツ推進計画	0302	スポーツ施設の充実		

予算事業名	スケートセンター・ゴルフ練習場・プール管理運営費	会計コード	01	款	10	項	06	目	02	事業	05
-------	--------------------------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要  
(簡潔にわかりやすく)  
平成18年度（プールは平成28年度）から指定管理者制度を導入し、指定管理者が施設の管理運営をしている。事業経費として、指定管理者への指定管理料と茅野市減免規定による減免分等を計上し、指定管理者と連携をとりながらスケートセンター・ゴルフ練習場・プールの管理運営を行っている。

現状と背景  
(どうして)  
プールは昭和52年、スケートセンターは平成元年、ゴルフ練習場は平成6年に開設され、(社)茅野市開発公社の解散により平成18年度から茅野市に運営が移管された。屋外施設のため経年劣化が早い。また、施設の特異性、競技として専門性、安全性を考慮し、スケート場、プール等の管理運営に長けている指定管理者を公募し、管理運営をしている。

目的  
対象  
受益者  
(誰のために)  
スケートセンター・ゴルフ練習場・プール利用者

対象  
(直接働きかける)  
スケートセンター・ゴルフ練習場・プール利用者及び指定管理者（株式会社パティネレジャー）

意図  
(どんな状態にしたいか)  
スケートセンター・ゴルフ練習場・プールの円滑な指定管理運営を行い、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整える。

手段・方法  
(どうやって)  
管理運営にあたり、利用者からの要望を精査し、指定管理者と協議しながら事業を進めていく。施設の修繕等に当たっては、指定管理料の中で対応できるものと、市で対応すべきものを精査し、優先度の高いものから実施していく。また、指定管理者のモニタリングを行い、運営状況や適正な管理運営が実施されているかをチェックし、指定管理料の適正な運用がなされているかを把握していく。

評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	指定管理者の業務実施状況の確認	モニタリング回数	回	モニタリング回数（目標：月に一度）	12
	2	指定管理料内での運営確認	最終収支率	%	指定管理料/指定管理料-営業収支（100万未満切り捨て）	100	
	3						
	変更履歴						
成果指標	成果・効果は何？		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
	1	各施設利用者数の増加	施設利用者数	人	スケートセンター・ゴルフ練習場・プールの年間利用者計	90,000	
	2						
	変更履歴						

実況	項目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
			事業費等(a)	円	52,125,030	51,907,000	52,829,000
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円	52,125,030	51,907,000	52,829,000		
活動指標	モニタリング回数	目標	回	12	12	12	
		実績	回	10	12		
		達成率	%	83.33	100.00	-	-
	最終収支率	目標	%	100	100	100	
		実績	%	100	100		
		達成率	%	100.00	100.00	-	-
-	目標	-					
	実績	-					
	達成率	%	-	-	-	-	
成果指標	施設利用者数	目標	人	90,000	90,000	90,000	
		実績	人	82,677	81,859		
		達成率	%	91.86	90.95	-	-
	-	目標	-				
		実績	-				
達成率	%	-	-	-	-		
備考							

事務事業名	スケートセンター・ゴルフ練習場・プール管理運営事業		事業期間	~	年度	係内番号	06
担当部署	生涯学習部	スポーツ健康課	スポーツ健康係		連絡先	72-8399	

事業後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成変果動指要標因分）析		夏季の猛暑により、ゴルフ練習場の総入場者数が若干減少したが、プールの総入場者数が例年より大幅に増加した。また、スケートセンターの入場者数も小平奈緒選手の活躍等により増加しており、3施設合計の入場者数は昨年度比約5%の増加している。	7月上旬は、気温が上がらない日が続いたため、プールの営業は半月以上が午前中のみとなり、昨年度より総入場者数が約2700人減少したが、ゴルフ練習場の利用者にとっては利用しやすい気候だったのか、昨年度から総入場者数は3,000人増加した。		
価値（総合評価）	成果	モニタリングでは、特に安全対策について配慮をされており、スケートでは指定管理者が独自に講習会の受講やヘルメットの貸出等を行っている。これにより、施設利用者が安全に利用できていて、怪我等の防止につながっている。	毎月1回モニタリングを行い、その際に施設の中で特に老朽化が進んでいる箇所のヒアリングやその概算工事費を見積り、20万円以下の修繕案件に対し、積極的な改善依頼を行い、施設の改善及び早期対応ができた。			
	課題	最終営業収支は赤字にならず指定管理料内での営業が行えており、昨年度に比べて総施設利用者数は増加しているが目標値には至らないため、積極的な広報活動や指定管理者の自主事業を行っていく必要がある。	気温による各施設の営業可否や冬季の大会開催数により、施設総入場者数の増減が大きく影響される。例年利用する利用者に寄り添ったサービス提供と新規継続利用者を獲得するような指定管理者の自主事業が必要である。			
改革	成果	現状維持	拡充			
	コスト	現状維持	拡大			
改善の方向性	内容及び容	平成28年度から始まった指定管理期間が満期となる令和2年度までは同コストでの事業となるが、令和3年度以降の指定管理事業に向けて、ゴルフ練習場・プール・スケートセンターそれぞれの運営継続・廃止・変更を検討し、より利益率の高い指定管理にする。また、その他に指定管理が有効的に作用する事業を模索し追加するなど、施設利用者の増加やサービス向上を目指す。	令和元年度の当事業予算は、10月からの消費増税に対応するため、急遽3月補正において半年分の消費増税相当額を459千円増額対応した。令和2年度についても、通年で消費増税相当額の増額対応を行ったため、917千円のコスト増となった。またスケートセンターで使用している製氷車が、スケートセンター建設当時から約30年使用しているため、次期指定管理者からのリースまたは購入する必要があるため、令和2年度までの指定管理料以上のコストを要する。			
作成担当者	小林 七緒樹	小林 七緒樹				
最終評価責任者	中村 浩明	中村 浩明				
最終評価年月日	令和元年5月16日	2020年7月1日				

事務事業名	スポーツ施設管理費	事業期間	～	年度	係内番号	04
担当部署	生涯学習部	スポーツ健康課	スポーツ健康係	連絡先	72-8399	

政策番号	02	基本計画①	01	教育大綱	0302	スポーツを通じた健康づくり	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高						
		基本計画②	02	生涯学習推進指針	0101	市民の学びを支える								
		実行計画	05	スポーツ推進計画	0302	スポーツ施設の充実								
		計画名称	計画名称		施策の柱の名称									
予 算 事 業 名	スポーツ施設管理費、スポーツ施設整備事業費					会計コード	01	款	10	項	06	目	02	事業
事務事業の概要	運動公園のスポーツ施設及び体育練成館の管理運営を行い、利用者が安心・安全に利用できるようにする。運営に必要な消耗品等の購入、設備や備品類の保守・点検、清掃、受付業務等の発注のほか、故障した施設・備品の修繕を行う。また、老朽化した施設の機能回復や、規則改正等により施設基準を満たさなくなった施設の整備や長寿命化工事等を公共施設等管理計画等に基づき実施することで、誰もが安心・安全にスポーツを楽しめる施設になるようにする。													
現状と背景	施設運営に必要な光熱水費・燃料・消耗品等の購入のほか、設備点検、受付、清掃業務等の委託業務発注や施設の補修など、公園施設の維持管理を行っている。特に施設・設備は供用開始から約40年が経過し老朽化が進んでいるため、毎年多数の故障が発生し修繕や改修工事が必要になっている。大規模改修は高額となるため、計画的に実施する必要がある。													
目的	受益者	運動公園スポーツ施設及び体育練成館の利用者												
	対象	運動公園スポーツ施設及び体育練成館の利用者及び各委託・工事業務受注者												
	意図	運動公園スポーツ施設及び体育練成館の利用者が、それぞれの目的に応じて施設を利用する際に、快適かつ良好で安心・安全な状態で使用できるようにする。												
手段・方法	施設利用者が安心安全に利用できるよう施設の運営に必要な物品購入や点検、委託等を行う。不良箇所・改善必要箇所は日ごろの点検のほか、利用者やスポーツ団体からの要望などからも把握し、必要な補修・工事を行い安全に使用できるようにするとともに、施設機能の保全を図る。大規模改修等は、公共施設等管理計画や利用者等からの要望に基づき、長寿命化や設備機能の向上を図り、利用ニーズに合った施設の整備を行う。													
	（どうやって）													
評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値								
		1	不具合箇所の発見・把握	調査数	回	施設・設備・備品等の調査回数	52							
		2	老朽化した施設・設備の機能回復等	工事実施率	%	工事実施件数/工事必要箇所×100	80							
	3													
変更履歴														
成果指標	成果・効果は何？		指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値								
	1	施設利用者数の増加	施設利用者数	人	運動公園施設・体育練成館利用者数	310,000								
	2	バッティングセンターの延べ利用回数の増加	バッティングセンター利用回数	回	打席カウンター数（3～11月は1/2、冬季営業期間はそのまま）	70,000								
変更履歴														

実 施 状 況	財 源 内 訳	項 目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
		事業費等(a)	円	325,284,849	105,366,000	249,383,000			
		国庫支出金	円						
		県支出金	円						
		地方債	円	46,800,000		54,600,000			
	活動指標	調査数	目標	回	52	52	52		
			実績	回	48	54			
		達成率	%	92.31	103.85	-	-		
		工事実施率	目標	%	80	80	80		
			実績	%	88	90			
	達成率	%	110.00	112.50	-	-			
	成果指標	施設利用者数	目標	人	310,000	310,000	310,000		
			実績	人	306,589	291,731			
		達成率	%	98.90	94.11	-	-		
		バッティングセンター利用回数	目標	回	70,000	70,000	70,000		
実績			回	67,301	73,168				
達成率	%	96.14	104.53	-	-				
備 考									

事務事業名	スポーツ施設管理費		事業期間	~	年度	係内番号	04
担当部署	生涯学習部	スポーツ健康課	スポーツ健康係		連絡先	72-8399	

事後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成変果動指要標因分）析		目標を下回った要因として、庭球場の大規模改修工事に伴いクレーコートが例年より早い10月から利用が不可能になったこと、猛暑の影響から6月～8月の各施設利用者数及びバッティングセンター利用回数が前年より少なかったことが考えられる。	昨年度から施設利用者数が減少した要因として、主に陸上競技場における夏季の合宿利用が減少したこと、並びに2月から新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、団体の予約キャンセルが相次いだこと、及びトレーニング室の利用を中止したことにより減少した。		
総合評価	成果	工事残金で誘導灯更新工事や各施設の修繕小工事を行った。これにより、各施設の安全性向上や体育協会の要望対応に寄与した。	日常的な点検により優先度をつけ、屋外施設の特に痛みの激しいバックネットの修繕、施設内で交通事故が発生した箇所へガードパイプを設置する緊急工事を行い、応急的だが安全性を向上することができた。			
	課題	工事実施率が目標値を上回ることができたが、すべて対応できたわけではない。利用者が安心・安全して利用でき、利用者数を増加させるには、計画的に大規模改修工事を行う必要がある。	建設後40年を超える施設が多くある中、限りある予算で全ての不具合や要望に対応することは不可能であるが、緊急的な修繕工事や施設の長寿命化に合わせて計画的な大規模改修を行う必要がある。			
改革	成果	拡充	拡充			
	コスト	拡大	拡大			
改善の方向性	改善の方向性の内容	受付窓口業務について、机の中での公金管理、月一の繁忙期(調整会議)時以外の通年1人営業が安全上や潤滑な運営の面で課題となっている。この委託業務の長期継続契約平成31年度末までのため、料金改定による収入増を見込んで設計を見直し、2人での営業時間の増やしやレジの導入などを検討し、施設利用者の利用しやすさ、公金管理の安全性向上を目指す。また、劣化し怪我につながる恐れのある施設は、早期に補助金等を利用しながら大規模改修工事を行う。	施設の老朽化及び施設の長寿命化に伴い、各建築物施設の耐震診断業務及び耐震工事の発注を計画的に行っていく必要がある。これらの施設を維持するために係るコストは拡大する一方であるため、公共施設等総合管理計画及び公共施設等再編計画の内容に合致した施設の整備計画、並びに施設廃止の検討及び廃止基準を定めること、並びに上記計画の対象でない社会体育施設について、今後も市費をかけていく施設とそうでない施設をそれぞれ明確にしていかなければならないと考える。			
作成担当者	小林 七緒樹	小林 七緒樹				
最終評価責任者	中村 浩明	中村 浩明				
最終評価年月日	令和元年5月16日	2020年7月1日				